

校長室より

「天空高き」



第109号



平成30年6月14日

師弟親愛—教育実習スタート—

6月に入り、教育実習が始まりました。

今年は5名の卒業生が3週間教壇に立ちます。教科は、国語（宮本・佐崎実習生）、社会（藤本実習生）英語（山田実習生）、美術（近藤実習生）です。

彼らは今まで学ぶ立場でしたが、今回は教える立場になります。机に座って学んでいた側から、教壇に立って教える側が変わります。

世界が180度変わりますが、大事なことは彼ら自身が、毎日の生活の中で実際に自分がやって見せること。自ら学んでいる姿を堂々と見せていけばいいと思います。生徒たちと一緒に勉強する、という気持ちで臨むことだと思います。私も生徒たちからたくさん学ぶことがあります。本校の校訓の一つに「師弟親愛」があります。共に切磋琢磨しながら、これからも学び続けてもらいたいと思います。



「ちょっとうれしい話」

山口県総合体育大会（インターハイ予選）が5月下旬～6月上旬にかけて県内の各地で開催されました。

本校は6月2日～3日まで男女のハンドボール会場でした。3年生にとっては最後の大会になるので、保護者の方々もたくさん本校に足を運ばれました。その一人に、ある公立高校の選手のお孫さんを応援するために本校に来られたおじいちゃん（祖父）がおられました。その方が試合を終えて帰られる時に、わざわざ事務室に立ち寄られました。

「高水高校のハンドボール部の生徒さんから気持ち良い挨拶をしてもらいましたが、それ以外の本校の生徒さんからもたくさん挨拶をしてもらいました。感激しました。是非、生



その時は失敗だと思うことでも、将来必ず、すべての経験が役に立つ。

弁護士 神山 昌子

徒さんを誉めてあげてください」と言われ、本校を後にされました。

本当にうれしい、ありがたい言葉をいただきました。

「おもてなし」というのは、まさにこのことだと思います。本校の生徒の皆さんを誇りに思うと共に、感動と元気、勇気ももらいました。ありがとうございました。

明るい元気な挨拶は家族や友達、仕事仲間、クラスメイトや先生などに尊敬や感謝の気持ちを表します。挨拶は相手に対する思いやりであり、それが挨拶の原点です。これからも、「あかるく、いつも、さきに、こづけて」を、お願いします。

6月の月間目標

One For All
一人は皆のために

平成30年度
チャレンジ目標

1. 挨拶 先に明るく元気に
2. 先を見据えた行動 5分前行動を
3. 1%を誰かのために ポラティア活動を
校長室より

「One For All, All For One」

皆さんもよく知っている諺だと思えます。私もよく使います。

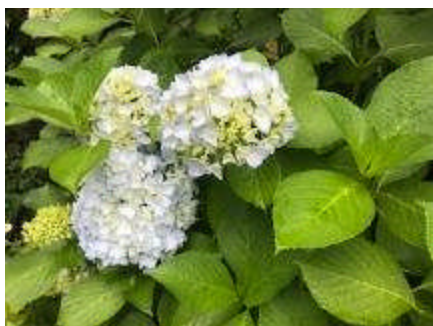
この言葉は、ラグビーのチームプレイの精神を表す言葉として有名ですが、実は、ラグビーというスポーツから生まれた言葉ではありません。

その語源はフランスの作家であるアレキサンドル・デュマの小説『三銃士』の中で、主人公のダルタニャンと三銃士との誓いの言葉として登場します。そして、その言葉は、「1人はみんなのために、みんなは1人のために」と訳されています。

しかし、「一人はみんなのために、みんなは一つの目的のために」というのが、本当の意味だという人もいます。一つの

目的、つまりゴールのために全員が一人ひとりの役割をしっかりと果たすのが重要だ、ということなのでしょう。

いづれにしても、一人ひとりがそれぞれの役割をチームの中で果たし、またお互いをリスペクトし合いながら勝利を目指す、ということには変わりありませんね。



あじさいの花
雨の日の
なろうとする
新しい色に
きょう
きのうよりも

あじさいの花
やさしい心の
なろうとする
形のよいものに
まるくまるく

「あじさいの花」坂村真民

82歳のプログラマー若宮政子さん

私たちの生活にあっという間に浸透したスマートフォン。iPhoneアプリを制作し、2017年6月、Appleがアメリカで開催した開発者イベントWWDC（ワールドワイド デベロッパーズ カンファレンス）の基調講演で「最年長開発者」として紹介されたのは、82歳のプログラマー、若宮正子さんでした。

彼女は60歳でパソコンに出会い、81歳でプログラミングを始めました。注目を浴びたのは、昨年2月にiPhoneアプリ「hinadan（ひなだん）」を開発したことでした。今年2月には国連総会で高齢者におけるIT技術の必要性を英語でプレゼンされました。

その彼女がある雑誌で語られていた文章の一部です。

.....ITの登場により、肉体労働者が減って知的労働者の比重が増すなど、現代社会の生活スタイルは激変してきました。最近ではAI（人工知能）がプロ棋士に勝利してしまうほど技術は進歩していますが、人間とAIが同じ土俵で戦わねばならなくなった時、私たちに求められるのは人間力だと思っています。

人間力とは、知識や教養があるのはもちろん、総合的な力のことで、広い視野でバランスよく物事を俯瞰（ふかん）すること。例えば裁判において、AIは過去の法令を調べ、それに準じた判決ができるかもしれませんが、情状酌量（しゃくりょう）や執行猶予（ゆうよ）など感情を考慮した上での判断はできません。こうした困難な決断が必要な仕事こそ、人間が従事すべきです。

どんなにパソコンでコミュニケーションが取れるようになったとしても、人間力を養うためにはリアルな体験が不可欠だと思います。人と関わったり、小説を読んだり、現実の世界での原体験が人間としての総合力を磨くのです。その土俵があったから、私はパソコンを通じて友人と密なやりとりができたのだと思います。

私にとって、パソコンというたった一つの買い物で人生を大きく変えました。当初は知識や技術など全くなかったものの、気がつけば自然と習得していました。勉強でもそうですが、必要に迫られれば身につく、強制でやらされるものはいくら努力したところ体得できないでしょう。.....

AIは、囲碁や将棋のように「すべての状況がきちんと説明できる限定的な環境」の条件下では素早く答えを見つけることができます。しかし、課題や問題点を見つけたり、感性が求められる創作的な活動、芸術的な分野や創作料理は難しいと思います。

私たちが大事にしている目には見えないもの、人間力もそうですが、その分野はAIは不得意なようです。

お雛様を飾りましょう

遊び方

下の段にある全ての雛人形を上段の雛壇の正しい場所に置いてください。

1. まず、下の段にある雛人形を、手で軽く「トン」とたたきます。
[どの雛人形からかはじめても結構です]
2. 次に、上の雛壇の正しい位置の台座を、同様の方法でたたきます。
3. 正しい位置に置かれたら、したの雛壇のなかで「正解です」と表示されます。
4. 正しい位置でなかった場合は「間違いです」と表示されます。
その場合は、何度でもやり直しができます。
5. 全部の雛人形が正しい位置に置かれると画面が変わります。

以上、読み終えたら、右下の「次へ」というボタンを軽くたたいてください。



サラリーマン川柳

第一生命は5月23日、今年で31回目となる恒例の『サラリーマン川柳コンクール』のベスト10を発表しました。毎年たくさんのサラリーマンたちの悲哀が届く同コンクール。昨年9月から11月にかけて、全国の幅広い世代を対象に募集し、応募作品数は4万7559句。今年2月に全国優秀100句を発表し、それらの作品を対象に、8万4000人を超えるサラ川ファンの投票により、ベスト10が決まりました。この中で栄えある第一に輝いたのはどの句だと思いますか。(答えは最後の箇所に)

- ①『「ちがうだろ！」 妻が言うなら そうだろう』(そら/40代代/女性)
- ②『効率化 進めて気づく 俺が無駄』(さごじょう/30代/男性)
- ③『「マジですか」 上司に使う 丁寧語』(ビート留守/70代/男性)
- ④『「言っただろ！」 聞いてないけど 「すみません」』(中っ端/40代/男性)
- ⑤『ほらあれよ 連想ゲームに 花が咲く』(さっちゃん/50代/女性) 校門前
- ⑥『父からは ライン見たかと 電話来る』(アカエタカ/60代/男性)
- ⑦『ノーメイク 会社入れぬ 顔認証』(北鎌倉人/50代/男性)
- ⑧『電子化に ついて行けずに 紙対応』(トリッキー/50代/男性)
- ⑨『スポーツジム 車で行って チャリをこぐ』(あたまで健康追求男/60代/男性)
- ⑩『減る記憶 それでも増える パスワード』(脳活/20代/男性)

24節気

芒種 (ぼうしゅ) 6/6 頃

芒 (のぎ) ある穀類、稼種する時也 (暦便覧)

稲の穂先のように芒(とげのようなもの)のある穀物の種まきをする頃という意味であるが、現在の種まきはだいぶ早まっている。西日本では梅雨に入る頃。

夏至 (げし) 6/21 頃

陽熱至極した、日の長きのいたりなるを以て也 (暦便覧)

一年中で一番昼が長い時期であるが、日本の大部分は梅雨の時期であり、あまり実感されない。花しょうぶや紫陽花などの雨の似合う花が咲く季節である。

出典「こよみのページ」